インライン展開用のSD-WANエッジルータの設 定

内容

<u>概要</u>
<u>前提条件</u>
<u>要件</u>
<u>使用するコンポーネント</u>
<u>背景説明</u>
<u>ネットワーク図</u>
<u>コンフィギュレーション</u>
<u>検証</u>
<u>関連情報</u>

概要

このドキュメントでは、インラインDC WANエッジを介してインターネット上のCisco SD-WANコントローラにアクセスするために、MPLSトランスポートを使用してCisco SD-WANエッ ジを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Software-Defined Wide Area Network(SD-WAN)
- ルーティング

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ・ Cisco vManageバージョン20.6.5.2
- Cisco WANエッジルータバージョン17.06.05

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。 インラインDC WANエッジ展開では、MPLSから着信する制御トラフィックは、インターネット 上のSD-WANコントローラに到達する必要があります。トラフィックは、VPN 0のMPLSとイン ターネットの間でルーティングできます。

この場合、トンネル設定をMPLSおよびインターネットの物理インターフェイスから削除し、2つの個別のループバックインターフェイスに配置する必要があります。

ネットワーク図



Network Topology

コンフィギュレーション

この導入では、ブランチWANエッジデバイスはDC WANエッジを介してコントローラにアクセス する必要があります。このシナリオでは、追加の物理インターフェイスがDC WANエッジのVPN 0に追加され、トンネルが物理インターフェイスからループバックインターフェイスに移動されま す。

物理インターフェイスからループバックインターフェイスにトンネルを移動すると、DC WANエ ッジルータがDC WANエッジおよびブランチWANエッジルータからのトラフィックの中継として 機能できるようになります。コントロールプレーンとデータプレーンを形成するには、ループバ ックIPアドレスとコントローラ間に接続が必要です。

次の出力は、DC WANエッジインターフェイスの設定をキャプチャしたものです。

```
interface GigabitEthernet0/0/0
ip address 10.201.186.175 255.255.255.224
no shutdown
!
interface GigabitEthernet0/0/2
description connection to Branch_WAN-Edge
ip address 192.168.20.21 255.255.255.252
no shutdown
!
interface Loopback1
description wan_color_green
ip address 192.168.20.2 255.255.255
no shutdown
```

```
!
interface Loopback2
description wan_color_custom2
ip address 192.168.20.10 255.255.255
no shutdown
!
```

次の出力は、DC WANエッジトンネル設定をキャプチャしたものです。

DC_WAN-Edge#sh sdwan running-config sdwan sdwan interface Loopback1 tunnel-interface encapsulation ipsec weight 1 no border color green no last-resort-circuit no low-bandwidth-link max-control-connections 1 no vbond-as-stun-server vmanage-connection-preference 5 port-hop default carrier nat-refresh-interval 5 hello-interval 1000 hello-tolerance 12 no allow-service all no allow-service bgp allow-service dhcp allow-service dns allow-service icmp no allow-service sshd no allow-service netconf no allow-service ntp no allow-service ospf no allow-service stun allow-service https no allow-service snmp no allow-service bfd exit exit interface Loopback2 tunnel-interface encapsulation ipsec weight 1 no border color custom2 restrict no last-resort-circuit no low-bandwidth-link max-control-connections 1 no vbond-as-stun-server vmanage-connection-preference 5 port-hop carrier default nat-refresh-interval 5 hello-interval 1000 hello-tolerance 12 no allow-service all no allow-service bgp

```
allow-service dhcp
allow-service dns
allow-service icmp
no allow-service sshd
no allow-service netconf
no allow-service ntp
no allow-service ospf
no allow-service stun
allow-service https
no allow-service snmp
no allow-service bfd
exit
exit
```

ï

次の出力は、Branch_WAN-Edgeトンネル設定をキャプチャしたものです。

```
Branch_WAN-Edge#sh sdwan run sdwan
sdwan
interface GigabitEthernet0/0/2
 tunnel-interface
   encapsulation ipsec weight 1
   no border
   color custom2
   no last-resort-circuit
   no low-bandwidth-link
   no vbond-as-stun-server
   vmanage-connection-preference 5
   port-hop
                                 default
   carrier
   nat-refresh-interval
                                  5
   hello-interval
                                 1000
   hello-tolerance
                                  12
   no allow-service all
   no allow-service bgp
   allow-service dhcp
   allow-service dns
   allow-service icmp
   no allow-service sshd
   no allow-service netconf
   no allow-service ntp
   no allow-service ospf
   no allow-service stun
   allow-service http
   no allow-service snmp
   no allow-service bfd
 exit
exit
```

```
!
```

検証

次の出力は、DC_WAN-Edgeのコントロールプレーン接続をキャプチャしたものです。

次の出力は、Branch_WAN-Edgeのコントロールプレーン接続をキャプチャしたものです。

Branch_WAN-Edge#show sdwan control connections PEER PEER CONTROLLER PEER PEER SITE DOMAIN PEER PRIV PEER PUB GROUP TYPE PROT SYSTEM IP ID ID PRIVATE IP PORT PUBLIC IP PORT LOCAL COLOR PROXY STATE UPTIME ID

vsmart dtls 10.10.10.2 1 1 10.201.186.172 12346 10.201.186.172 12346 custom2 No up 0:00:00:20 0 vmanage dtls 10.10.10.1 1 0 10.201.186.171 12346 10.201.186.171 12346 custom2 No up 0:00:00:22 0

次の出力は、DC_WAN-Edgeのデータプレーン接続をキャプチャしたものです。ローカルカラー の緑色は、リモートエッジデバイスとのBFDセッションを形成しています。

次の出力は、Branch_WAN-Edgeのデータプレーン接続をキャプチャしたものです。 ローカルカ ラーcustom2は、リモートエッジデバイスとのBFDセッションを形成しています。

関連情報

• <u>Cisco SD-WAN設計ガイド</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。